



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 新京成電鉄株式会社

コード番号 9014 URL <https://www.shinkeisei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞下 幸人

問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略部主計・連結会計担当課長 (氏名) 内藤 智喜 TEL 047-389-1125

四半期報告書提出予定日 2021年8月5日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	4,655	21.9	241	ー	279	ー	164	ー
2021年3月期第1四半期	3,820	△28.9	△450	ー	△431	ー	△282	ー

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 102百万円 (44.0%) 2021年3月期第1四半期 70百万円 (△89.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	14.95	ー
2021年3月期第1四半期	△25.76	ー

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	101,966	43,391	42.6
2021年3月期	102,664	43,486	42.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 43,391百万円 2021年3月期 43,486百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	ー	12.50	ー	12.50	25.00
2022年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2022年3月期(予想)	ー	12.50	ー	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,700	15.2	764	ー	700	ー	364	ー	33.23
通期	19,519	12.1	1,262	ー	1,516	ー	949	ー	86.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	11,023,228株	2021年3月期	11,023,228株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	45,814株	2021年3月期	45,673株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	10,977,440株	2021年3月期1Q	10,978,003株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大などの影響により、経済活動の持ち直しの動きは見られるものの、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループでは引き続き安全管理体制の更なる充実を根幹とし、経営基盤の強化および業務の効率化に努めました。

その結果、営業収益は4,655百万円（前年同期比21.9%増 835百万円）、営業利益は241百万円（前年同期は営業損失450百万円）、経常利益は279百万円（前年同期は経常損失431百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は164百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失282百万円）となりました。

これをセグメントごとに示すと次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

#### 運輸業

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして三咲駅の外壁屋根改修工事を実施したほか、諸施設のバリアフリー化として常盤平駅のホーム内方線設置工事およびホーム嵩上げ工事を実施いたしました。また、お客さまサービス向上策につきましては、高根木戸駅のエスカレーター更新工事を実施いたしました。

営業面につきましては、鉄道むすめシリーズのキャラクター「五香たかね」の誕生を記念して、記念乗車券およびオリジナルグッズの発売と五香駅の装飾を実施したほか、千葉ロッテマリーンズのラッピング電車の運行、果物狩りなどのイベントを実施し、旅客誘致と増収に努めました。

バス事業では、環境や高齢者などに配慮した車両へと1両代替したほか、旅客需要に対応したダイヤ改正を実施いたしました。また、国土交通省が創設した「働きやすい職場認証制度（運転者職場環境良好度認証制度）」において、一つ星事業者として認証されました。

以上の結果、営業収益は3,299百万円（前年同期比26.4%増 689百万円）、営業損失は215百万円（前年同期は営業損失889百万円）となりました。

#### 不動産業

不動産賃貸事業では、八千代市緑が丘西四丁目（吉橋85街区）の新規賃貸施設が2021年6月に竣工したほか、空室へのテナント誘致を積極的に行い物件稼働率の維持向上に努めました。

以上の結果、営業収益は826百万円（前年同期比1.2%増 9百万円）となり、営業利益は前年同期並みの434百万円となりました。

#### コンビニ業

コンビニ事業では、コロナ禍におけるお客さま動向の変化に対応した品揃えを強化するなど、利便性と収益力の向上を図りました。また地域貢献の一環として、地域産品を販売したほか、「新京成マルシェ」を開催いたしました。

以上の結果、営業収益は566百万円（前年同期比32.4%増 138百万円）となり、営業利益は14百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、建物及び構築物の増加等がありましたものの、機械装置及び運搬具、投資有価証券の減少等により前連結会計年度末に比べ697百万円（前期比0.7%）減少し、101,966百万円となりました。

負債は、前受金の増加等がありましたものの、未払金の減少等により前連結会計年度末に比べ602百万円（前期比1.0%）減少し、58,574百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少等により前連結会計年度末に比べ95百万円（前期比0.2%）減少し、43,391百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響については、引き続き予断を許さない状況が続くものと思われませんが、第1四半期の業績は概ね当初の計画どおり推移しており、2021年4月28日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,775,653	5,648,703
売掛金	1,095,398	—
売掛金及び契約資産	—	907,726
未収還付法人税等	321,782	325,633
リース投資資産	806,498	803,249
商品及び製品	48,117	46,719
分譲土地建物	615,000	615,000
原材料及び貯蔵品	488,886	493,309
その他	231,254	250,170
流動資産合計	9,382,590	9,090,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,477,806	21,817,729
機械装置及び運搬具(純額)	5,048,781	4,803,743
土地	12,136,521	12,151,443
建設仮勘定	42,345,162	42,169,001
その他(純額)	910,569	836,471
有形固定資産合計	81,918,840	81,778,389
無形固定資産		
投資その他の資産	682,027	636,806
投資有価証券	10,370,907	10,153,852
繰延税金資産	3,497	3,581
退職給付に係る資産	183,560	183,187
その他	122,689	119,845
投資その他の資産合計	10,680,655	10,460,466
固定資産合計	93,281,524	92,875,662
資産合計	102,664,114	101,966,175
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,149,876	613,289
短期借入金	4,624,800	4,641,400
未払金	1,985,560	633,024
未払法人税等	7,713	205,176
前受金	35,656,056	36,513,218
賞与引当金	476,982	741,805
その他	2,999,260	3,042,533
流動負債合計	46,900,250	46,390,447
固定負債		
長期借入金	5,799,600	5,791,850
繰延税金負債	1,113,372	970,497
退職給付に係る負債	3,263,115	3,294,544
その他	2,101,238	2,127,637
固定負債合計	12,277,326	12,184,529
負債合計	59,177,576	58,574,977

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,935,940	5,935,940
資本剰余金	4,774,522	4,774,522
利益剰余金	28,187,852	28,154,828
自己株式	△85,556	△85,860
株主資本合計	38,812,758	38,779,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,741,571	4,672,518
退職給付に係る調整累計額	△67,791	△60,751
その他の包括利益累計額合計	4,673,779	4,611,766
純資産合計	43,486,538	43,391,198
負債純資産合計	102,664,114	101,966,175

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
営業収益	3,820,549	4,655,622
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	3,970,829	4,124,850
販売費及び一般管理費	300,320	289,273
営業費合計	4,271,149	4,414,123
営業利益又は営業損失(△)	△450,600	241,499
営業外収益		
受取利息	12	6
受取配当金	44,507	38,053
助成金収入	59	30,429
その他	10,509	9,667
営業外収益合計	55,089	78,156
営業外費用		
支払利息	28,847	29,043
持分法による投資損失	7,232	11,379
その他	0	196
営業外費用合計	36,079	40,619
経常利益又は経常損失(△)	△431,591	279,035
特別利益		
工事負担金等受入額	4,560	5,600
特別利益合計	4,560	5,600
特別損失		
固定資産圧縮損	4,489	5,063
特別損失合計	4,489	5,063
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△431,521	279,572
法人税、住民税及び事業税	55,217	208,062
法人税等調整額	△203,957	△92,552
法人税等合計	△148,740	115,509
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△282,780	164,062
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△282,780	164,062

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△282,780	164,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	341,870	△63,241
退職給付に係る調整額	8,734	7,039
持分法適用会社に対する持分相当額	3,021	△5,811
その他の包括利益合計	353,627	△62,013
四半期包括利益	70,846	102,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,846	102,049
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、「運輸業」の鉄道定期券について、従来、発売月を基準として定期券の種類に応じた一定の期間にわたって収益を認識しておりましたが、有効期間にわたって収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は47百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ47百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は59百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	運輸業	不動産業	コンビニ業	合計		
営業収益						
外部顧客への 営業収益	2,605,099	787,804	427,645	3,820,549	—	3,820,549
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	5,288	28,748	318	34,355	△34,355	—
計	2,610,387	816,553	427,964	3,854,904	△34,355	3,820,549
セグメント利益 又は損失(△)	△889,154	434,304	△3,361	△458,211	7,610	△450,600

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	運輸業	不動産業	コンビニ業	合計		
営業収益						
外部顧客への 営業収益	3,291,790	797,017	566,814	4,655,622	—	4,655,622
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	7,885	29,290	△24	37,150	△37,150	—
計	3,299,676	826,307	566,789	4,692,773	△37,150	4,655,622
セグメント利益 又は損失(△)	△215,063	434,806	14,814	234,556	6,942	241,499

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に区分していた「コンビニ業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。